

- ・ シンナー：10例
- ・ ガス類：4例
- ・ トルエン：4例
- ・ ボンド：2例
- ・ ラッカー：1例

『有機溶剤症例』が症例全体に占める割合は14.1%で、昨年の15.1%に続き、減少傾向がみられている。しかし“使用歴を有する薬物”としては43.7%と、覚せい剤に次いで高い水準で経過している(図2)。また“初回使用薬物”としては、41.2%と覚せい剤を上回り、依然として最も高い割合であった。これらの結果は、薬物乱用への入り口としての有機溶剤が依然として軽視できないことを示している。

② 性・年齢の特徴

『有機溶剤症例』の特徴は、80%が男性で、平均17.7歳という低年齢で乱用が開始されることである。これまで、他の併用薬物のない単独使用者の割合が2/3程度にみられてきたが、今回は15.0%と少なかった。

③ 喫煙・飲酒歴、薬物使用歴

喫煙歴は95.0%にみられ、初回喫煙年齢は15.4歳と『多剤症例(規制薬物)』に次いで低年齢であった。飲酒開始年齢も16.1歳と、より低年齢で使用を開始する傾向はこれまで同様である。

有機溶剤の使用期間では、1年未満の「初期乱用者」は2例(5.0%)と、前回の1.3%と比較するとやや増加傾向にあった。一方、5年以上の「長期使用者」の割合は約60%、10年以上も47.5%と高く、『覚せい剤症例』以上に、慢性病態の存在がうかがわれた。

④ 交友関係、逮捕・補導歴

交友関係では、乱用開始前に「非行グループ」との関係を有する割合は30.0%と低くなく、「薬物乱用者」との関係も1/4程度にみられた。「逮捕・補導歴」は乱用後で52.5%であったが、乱用前に比較して開始後には7倍に増加していた。

⑤ 薬物使用の契機、動機、入手経路

初回使用の契機となった人物としては、男性の半数が「同性の友人」とし、比較的高い割合であった。また、女性では4例(50%)が「自発的使用」であった。

薬物初回使用の動機としては、男女とも40%前後が「誘われて」で、「好奇心・興味から」も50~60%と高かった。薬物入手経路では「密売人」が女性のうち3例(37.5%)と高かった。

⑥ 精神医学的診断

ICD-10による診断分類では、「依存症候群」が47.5%と前回以上に高い割合を示し、次いで「精神病性障害(>6M)」、「残遺性障害および遅発性精神病性障害」がそれぞれ17.5%にみられた。『覚せい剤症例』に比較すると「依存症候群」の割合が高いが、これに次いで、『覚せい剤症例』同様に症状の遷延・持続化が問題となっていることがうかがえる。

⑦ 受診経路

「周囲のすすめ」による受診の割合が最も高いことが『有機溶剤症例』の特徴のひとつといえる。中でも「家族」のすすめが最も多く、有機溶剤乱用の問題がまず家族内で事例化する点は、他の規制薬物症例とは多少異なる特徴といえるだろう。これには、有機溶剤乱用が低年齢で開始されることも関連していると思われる。家族が相談治療機関にアクセスしやすい環境作りがさらに必要と考えられる。

⑧ 治療プログラムの利用状況

プログラム利用歴を有する割合は47.5%と比較的高い。『覚せい剤症例』同様に、半数が「薬物依存症用のプログラム」でほとんどが「精神科医療機関」におけるものであった。

⑨ 治療および回復における問題点

「断薬への動機付けが希薄なこと」、「使用欲求・渴望のコントロールが困難」といった依存症そのものに関わる問題が40.0%、55.0%と高い割合を示した。これも、『有機溶剤症例』の診断分類

において「依存症候群」の割合が高いことと合致する結果である。また、「ソーシャルスキルの欠如」が40.0%と他の薬物症例群と比較して最も高いことは、有機溶剤の低年齢からの乱用に伴う心理社会的発達上の障害の大きさを反映すると考えられる。

(3) 睡眠薬・抗不安薬・鎮痛薬

これらの薬物を“主たる使用薬物”とする症例が全体に占める割合としては、各年度の調査において10%前後と高くはない。しかし、『睡眠薬症例』と『抗不安薬症例』を合わせた『鎮静剤症例(%)』の推移をみると、1996年の5.6%から今回は13.0%へと、徐々にではあるが着実に増加傾向にある(図1)。ただし、これらの薬物症例の推移を判断するにあたっては“ベンゾジアゼピン系医薬品の臨床用量依存”の問題もあり、治療と乱用との境界が必ずしも明確ではないことを考慮することも必要である。

『睡眠薬症例』、『抗不安薬症例』では30~40%がそれぞれ抗不安薬、睡眠薬を併用しており、また『多剤症例(医薬品)』では、70~80%に睡眠薬、抗不安薬の使用率がみられる。また、規制薬物症例における睡眠薬の使用割合も10~35%程度と決して低くない。

『睡眠薬症例』では平均年齢が40~50歳代、初回使用年齢も35.8歳と他の薬物症例に比較して高く、ほとんどの症例で最近1年間における使用がみられる。使用期間も平均8.2年と長い。『抗不安薬症例』、『鎮痛薬症例』ではそれぞれ4.3年、5.3年と『睡眠薬症例』に比較すると使用期間は短い傾向がみられた。

初回使用の契機となった人物としては『睡眠薬症例』、『抗不安薬症例』の女性例、『鎮痛薬症例』では半数以上が「医師」であったが、それ以外では、当初からの乱用目的による使用が想定される入手経路が少なからずみられた。

初回使用の動機としては、多くは不眠、不安、疼痛等の症状軽減が目的であったが、『抗不安薬症例』男性例では治療目的以外の使用が目立った。

一部の症例で具体的に報告された薬物は、以下

のようなものであった。

【睡眠薬】

- ・ トリアゾラム 15例
- ・ フルニトラゼパム 9例
- ・ ブロムワレリル尿素 (“ウット”含む) 5例
- ・ ソルピデム 4例
- ・ ベグタミン 3例
- ・ プロチゾラム 2例
- ・ ニトラゼパム 2例
- ・ その他(アモバルビタール、ニメタゼパム、ゾピクロン、エスタゾラム) 各1例

【抗不安薬】

- ・ エチゾラム 11例
- ・ アルプラゾラム 5例
- ・ クロキサゾラム 2例
- ・ プロマゼパム 2例
- ・ ジアゼパム 2例
- ・ ロラゼパム 2例

【鎮痛薬】

- ・ セデス 6例
- ・ ペンタゾシン 4例
- ・ その他(イブ、オプタリドン、ナロン) 各1例

(4) 鎮咳薬

『鎮咳薬症例』は1982年以来、毎回の調査で報告されている⁴⁾。今回の調査では、主たる使用薬物としては2.8%で、前回と比較すると減少傾向にあった。『鎮咳薬症例』の平均年齢は32.4歳、平均24.4歳で鎮咳薬の使用を開始しており、『医薬品症例』群の中では低年齢であった。性比は男性優位で、使用期間は平均7.8年、8例中少なくとも5例が過去1年以内の鎮咳薬使用経験を有し、大麻併用率も25.0%と低くなかった。これらは従来の鎮咳薬症例の傾向とほぼ同様である。

ICD-10による主診断では、87.5%が「依存症候群」に該当した。前回1/4の症例で報告された「残

遺性障害および遅発性精神病性障害」はみられなかった。

なお、具体的に報告された鎮咳薬は以下のようなもので、すべてOTCであった。

- ・ ブロン錠 10例
- ・ ブロン液 9例
- ・ その他(ブロン, ガノン, トニン, 不詳市販薬) 各1例

(5) 大麻

大麻はこのところ検挙者数、押収量が増加傾向にあり、スポーツ界や大学生における乱用の報道が昨年来頻繁にされているなど、最も乱用拡大が懸念される薬物のひとつである。

『大麻症例』は1987年度調査より報告されるようになったが、主たる使用薬物症例数としては少数で推移していた。ところが、2002年度から2%を超えて増加傾向がみられ、今年度は前回の2.4%と同様の水準にあった。一方、過去に大麻使用歴のある症例は、ここ数年の調査において回答症例全体の10%前後を占めていたが、2002年度の22.0%から、2004年度には38.1%へと急増し、2006年度は27.7%、今年度も26.1%と高い割合を示した。社会における大麻乱用拡大の影響が、精神医療の現場にも確実に及んでいると思われる。

『大麻症例』は7例中6例(85.7%)が男性で、平均27.0歳と比較的低年齢であった。大麻使用開始年齢は平均20.3歳と『有機溶剤症例』に次いで低く、半数近く(42.9%)に覚せい剤の使用歴がみられた。また、7例すべてが他の薬物の併用歴を有しており、従来以上に多剤併用傾向がみられた。70%以上が最近1年以内の大麻使用歴を有するのは、最近の国内における乱用拡大を反映している可能性がある。さらに7例すべてで薬物乱用前から薬物乱用者との関係がみられ、半数以上に逮捕・補導歴があった。これらの特徴はこれまでと同様の傾向である。喫煙・飲酒は低年齢で開始しているが、アルコール問題の既往を有する症例は報告されなかった。

一方、『多剤症例(規制薬物)』では半数に大麻使用歴があり、初回使用年齢からみると、有機

溶剤(15.1歳)→大麻または覚せい剤(22.0歳)という多剤併用の時間的流れが推測された。また、『覚せい剤症例』では約1/4に大麻使用歴がみられ、ここでの初回使用年齢は21.7歳と覚せい剤の21.9歳とほぼ同年齢であった。

『大麻症例』の乱用開始にあたっては、男性症例の半数が「誘われて」、1/3が「刺激を求めて」、 「好奇心・興味から」を動機としており、「同性の友人」や「知人」が使用契機となっていた例が多くみられた。大麻使用における自己治療的な意味合いは少なかった。最近1年以内の薬物入手は1/3が「友人」からで、容易に入手できる状況がうかがわれた。診断としては、「精神病性障害」の割合が70%を超え、症状の長期遷延例も少なくみられた。これらの傾向もこれまで同様である。

(6) メチルフェニデート(リタリン)

メチルフェニデート(リタリン)症例は従来より一定数の報告がみられていたため、2006年度調査より独立した薬物として集計している⁴⁾。リタリンについては、これまで“うつ病”に対する一部医療機関の安易な処方乱用・依存を助長しているとの批判があったが、ようやく2007年から2008年にかけて、保険適用がナルコレプシーのみとなり、処方・調剤および流通管理の厳格化などの対策がとられるに至った。これについては昨年度の報告書⁴⁾で詳述したので詳細は省く。

今年度の報告では、リタリンを主たる使用薬物とする症例(『リタリン症例』)は2例(0.7%)、リタリン使用歴を有する症例も7例(2.5%)と、2006年度調査に比較すると、それぞれ15例(2.8%)、30例(5.6%)から半減した。今回は報告症例数全体として減少したため、実質的なリタリン乱用・依存の減少については慎重な判断が必要であるが、リタリン使用歴を有する7例のうち、「最近1年以内のリタリン使用歴」を有する症例は1例のみであったことから、上記の諸対策については、直近の乱用の抑制という側面からは一定の効果が現れていると考えられる。とはいえ、今後もリタリンだけではなく、中枢刺激作用をもつ他の医薬品(コンサータ、モダフィニール、ペモ

リン等)についても注意深く見守る必要がある⁴⁾。

(7) その他の薬物

症例全体で使用歴があると報告されたその他の薬物には以下のようなものがみられた。

・ MDMA	23 例
・ コカイン	21 例
・ LSD	16 例
・ ヘロイン	7 例
・ マジック・マッシュルーム	7 例
・ ケタミン	2 例
・ ラッシュ (指定薬物)	2 例
・ あへん	1 例
・ モルヒネ	1 例
・ 5-Meo-DIPT (メルター)	1 例
・ その他, センノサイド, ラシックス, 向精神薬 (パロキセチン, クエチアピン)	各 1 例

MDMA は押収量, 検挙者数ともに年々増加しており, 本調査においても 2004 年度 41 例, 2006 年度に 51 例の報告がみられている⁴⁾。大麻とともに乱用拡大がきわめて懸念される乱用物質である。コカイン, LSD, ヘロイン, マジック・マッシュルーム等も例年報告がみられている。ケタミン (2-(2-クロロフェニル)-2-(メチルアミノ)シクロヘキサン) は, 2004 年度に 2 例, 今年度も 2 例の報告がみられており, 2007 年 1 月より麻薬として規制されている。

これまでの報告書でも指摘したように, 最近の麻薬指定物質や知事指定薬物, 薬事法指定薬物に該当する物質は, その生体作用について十分解明されていない場合が多く, 臨床上的問題も予測しがたい。とくに急性中毒の症候や, 他の薬物との相互作用など不明な点が多いので, 医療現場では注意が必要である。

E. 結論

1) 全国の精神科病床を有する医療施設 1,622 施設を対象に, 薬物関連精神疾患の実態調査を郵送法にて施行し, 785 施設 (48.4%) から 284 症例の報

告を得た。

2) 主たる使用薬物別では, 『覚せい剤症例』が 148 例 (52.1%) と最も多く, 『有機溶剤症例』40 例 (14.1%) と合わせると全体の 2/3 を占めており, 依然として両薬物が主要なものであった。

3) 『覚せい剤症例』の病態としては, 精神病性障害が中心で, 従来の調査と同様に長期にわたる慢性・遷延性の状態像がうかがわれた。有機溶剤の社会における乱用は下火になりつつあるが, 「使用歴を有する薬物」としては 43.7%, 「初回使用薬物」としても 41.2% と依然として高い水準を維持しており, 薬物乱用への入門薬としての役割は依然として軽視できない。

4) 『睡眠薬症例』, 『抗不安薬症例』, 『鎮痛薬症例』では平均年齢, 使用開始年齢など高く, 複数の薬物を併用する傾向がみられた。

5) 近年, 大麻乱用の拡大が懸念されており, 今回報告された『大麻症例』は全体の 2.5% と前回調査と同様に低い割合であったが, 「大麻使用歴を有する症例」は全体の 26.1% と高水準を保っていた。

6) 『リタリン症例』は 2 例 (0.7%) 報告され, 「使用歴を有する症例」としては 7 例 (2.5%) と低下しており, 保険適用病名の変更および処方・調剤・流通管理の厳格化による一定の効果が現れていると思われた。

7) 受診経路の検討からは, 「周囲のすすめ」が 38% と最も高く, 「自発的受診」が 30% でこれに次ぎ, 「医療機関」18%, 「刑事司法機関」が 11%, 「精神保健福祉センター」は 1 例 (3.8%) のみであった。地域の中核的な薬物相談窓口である精神保健福祉センターと精神科医療施設の役割分担, 連携についての検討がより必要かもしれない。

8) 依存症プログラムの利用状況については, 「何らかの依存症プログラムを利用した」症例は 122 例で全体の 43% と半数以下であった。プログラムの実施場所は「精神科医療機関」が 87% と最も高い割合で, 内容は「教育プログラム」66%, 「グループミーティング」59% で, 有効性が期待される「認知行動療法」は 29% に過ぎなかった。今後は, これらの治療プログラム内容に関する検討と普及が課題と考えられる。

9) 治療・回復における問題点としては, 「使用欲

求・渴望のコントロール困難」が48%と最も高く、次いで「断薬への動機付けが希薄なこと」、「精神科併存症の存在」がそれぞれ1/3にみられた。これらの結果から、「依存症」と「併存症」に焦点を当てた治療プログラムの充実や社会資源の整備が、精神科医療の現場から求められていることが明らかになった。

10) 今後も、精神科医療現場における乱用物質の動向および薬物関連精神障害の実態を把握しつつ、「依存症」と「併存症」に対する適切な治療的処遇と社会資源の整備に関する検討と実現が急務の課題であると考えられた。

謝 辞

ご多忙の中、本実態調査にご協力いただきました全国の精神科医療施設の医師の皆様ならびに関係者の方々、患者の皆様は心より厚く御礼申し上げます。

F. 研究発表

1. 論文発表

① 尾崎 茂：覚せい剤依存症の疫学的研究。最新精神医学14(2)：133-138, 2008。

2. 学会発表

なし

3. その他

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

なし

文献

- 1) 厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課：麻薬・覚せい剤行政の概況。2008年12月。
- 2) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター：ニューズレターKNOW, vol179, 2008年10月。
- 3) 尾崎 茂, 和田 清, 松本俊彦, 近藤あゆみ, 嶋根卓也, 堀 達, 今岡岳史：専門病棟を有する精神科病院受診者に対する認知行動療法の開発と普及に関する研究(3)。平成19年度精神・神経疾患研究委託費「薬物依存症および中毒性精神病に対する治療法の開発・普及と診療の普及に関する研究」。平成19年度

研究成果報告会(抄録集)：18, 2007/12。

- 4) 尾崎 茂, 和田 清, 大槻直美：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査。平成18年度厚生労働科学研究補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)「薬物乱用・依存の実態把握と乱用・依存者に対する対応策に関する研究」報告書, p93-140, 2007。

表1 精神科医療施設の種別と回答状況

	総施設数	回答あり 施設数*	回答のあった施設数と症例数			1施設あたり 有効回答 症例数
			症例報告あり 施設数*	有効症例数	症例なし 施設数	
国立病院	44 (2.7%)	27 (61.4%)	9 (20.5%)	37 (13.0%)	18 (40.9%)	4.1
自治体立病院						
都道府県立病院	74 (4.6%)	33 (44.6%)	11 (14.9%)	40 (14.1%)	22 (29.7%)	3.6
市町村立病院	69 (4.3%)	35 (50.7%)	5 (7.2%)	4 (1.4%)	30 (43.5%)	0.8
大学医学部附属病院	83 (5.1%)	51 (61.4%)	12 (14.5%)	21 (7.4%)	39 (47.0%)	1.8
民間病院	1352 (83.4%)	639 (47.3%)	71 (5.3%)	182 (64.1%)	568 (42.0%)	2.6
計	1622 (100.0%)	785 (48.4%)	108 (6.7%)	284 (100.0%)	677 (41.7%)	2.6

(回答あり施設数*, 症例報告あり施設数*には, 「回答拒否例(計115例)」を報告した施設を含む)

表2 主たる使用薬物別にみた症例数 (%)

主たる使用薬物	男性	女性	合計
覚せい剤	102 (68.9%)	46 (31.1%)	148 (52.1%)
有機溶剤	32 (80.0%)	8 (20.0%)	40 (14.1%)
睡眠薬	18 (75.0%)	6 (25.0%)	24 (8.5%)
抗不安薬	9 (69.2%)	4 (30.8%)	13 (4.6%)
鎮痛薬	1 (16.7%)	5 (83.3%)	6 (2.1%)
鎮咳薬	5 (62.5%)	3 (37.5%)	8 (2.8%)
大麻	6 (85.7%)	1 (14.3%)	7 (2.5%)
リタリン	1 (50.0%)	1 (50.0%)	2 (0.7%)
多剤(規制薬物)	9 (60.0%)	6 (40.0%)	15 (5.3%)
多剤(医薬品)	8 (50.0%)	8 (50.0%)	16 (5.6%)
その他	3 (60.0%)	2 (40.0%)	5 (1.8%)
計	194 (68.3%)	90 (31.7%)	284 (100.0%)

表3-1 主たる使用薬物別にみた性別・年齢の分布

性別 性比	覚せい剤 (148例)		有機溶剤 (40例)		睡眠薬 (24例)		抗不安薬 (13例)		鎮痛薬 (6例)		鎮咳薬 (8例)	
	男性 (68.9%)	女性 (31.1%)	男性 (80.0%)	女性 (20.0%)	男性 (75.0%)	女性 (25.0%)	男性 (69.2%)	女性 (30.8%)	男性 (16.7%)	女性 (83.3%)	男性 (62.5%)	女性 (37.5%)
年齢構成												
≤14	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
15~19	1 (1.0%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
20~24	4 (3.9%)	6 (13.0%)	2 (6.3%)	2 (25.0%)	1 (5.6%)	1 (16.7%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
25~29	9 (8.8%)	8 (17.4%)	5 (15.6%)	1 (12.5%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
30~34	18 (17.6%)	7 (15.2%)	4 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)
35~39	20 (19.6%)	13 (28.3%)	6 (18.8%)	2 (25.0%)	2 (11.1%)	3 (50.0%)	1 (11.1%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)
40~44	10 (9.8%)	6 (13.0%)	5 (15.6%)	2 (25.0%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
45~49	15 (14.7%)	2 (4.3%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
50~54	5 (4.9%)	1 (2.2%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
55~59	9 (8.8%)	1 (2.2%)	4 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60~64	8 (7.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
65~	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
不明	2 (2.0%)	2 (4.3%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	102 (100.0%)	46 (100.0%)	32 (100.0%)	8 (100.0%)	18 (100.0%)	6 (100.0%)	9 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)	5 (100.0%)	5 (100.0%)	3 (100.0%)
平均(男女別)	41.3±11.7	34.5±8.0	35.8±11.6	30.8±10.6	47.3±14.7	39.8±11.9	32.9±9.0	47.8±13.5	41	40.4±10.1	34.4±4.6	29.0±15.8
平均(全体)	39.2±11.1		34.8±11.4		45.6±14.2		37.8±12.4		40.5±9.0		32.4±9.5	

表3-2 主たる使用薬物別にみた性別・年齢の分布

性別 性比	大麻 (7例)		リタリン (2例)		その他 (5例)		多剤 (医薬品) (15例)		多剤 (規制薬物) (15例)	
	男性 (85.7%)	女性 (14.3%)	男性 (50.0%)	女性 (50.0%)	男性 (60.0%)	女性 (40.0%)	男性 (50.0%)	女性 (50.0%)	男性 (60.0%)	女性 (40.0%)
年齢構成										
≤14	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
15~19	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
20~24	2 (33.3%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
25~29	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)
30~34	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	2 (22.2%)	1 (16.7%)
35~39	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
40~44	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
45~49	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
50~54	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
55~59	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60~64	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
65≤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
計	6 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)	8 (100.0%)	8 (100.0%)	9 (100.0%)	6 (100.0%)
平均 (男女別)	28.1±5.6	20	30	41	31.7±7.6	36.5±16.3	39.9±8.5	35.1±8.0	30.9±6.5	30.3±10.5
平均 (全体)	27.0±6.0		35.5±7.8		33.6±10.1		37.3±8.3		30.6±8.1	

表4 主たる使用薬物別にみた最終学歴

	覚せい剤 有機溶剤 睡眠薬 抗不安薬 鎮痛薬 鎮咳薬 大麻 リタリン その他 多剤 (医薬品) 多剤 (規制薬物) 計												
在学中			1 (2.5%)								1 (0.4%)		
中学校	中退	2 (1.4%)									2 (0.7%)		
	卒業	51 (34.5%)	13 (32.5%)	1 (4.2%)	3 (23.1%)			2 (25.0%)			78 (27.5%)		
	不明	4 (2.7%)	1 (2.5%)						2 (40.0%)	3 (18.8%)	3 (20.0%)	5 (1.8%)	
高校	在学中	1 (0.7%)	1 (2.5%)				1 (14.3%)				1 (6.7%)	4 (1.4%)	
	中退	37 (25.0%)	8 (20.0%)	2 (8.3%)	1 (7.7%)	1 (16.7%)	2 (28.6%)			2 (12.5%)	4 (26.7%)	57 (20.1%)	
	卒業	27 (18.2%)	9 (22.5%)	9 (37.5%)	5 (38.5%)	2 (33.3%)	2 (25.0%)	1 (50.0%)		5 (31.3%)	3 (20.0%)	63 (22.2%)	
	不明	1 (0.7%)		1 (4.2%)								2 (0.7%)	
専門学校	在学中												
	中退	4 (2.7%)	3 (7.5%)								1 (6.7%)	8 (2.8%)	
	卒業	4 (2.7%)	2 (5.0%)	2 (8.3%)		3 (50.0%)	2 (28.6%)		2 (40.0%)	1 (6.3%)		16 (5.6%)	
	不明	1 (0.7%)					1 (14.3%)					2 (0.7%)	
短大	在学中												
	中退			3 (12.5%)								3 (1.1%)	
	卒業	1 (0.7%)	2 (5.0%)		2 (15.4%)							5 (1.8%)	
	不明												
大学	在学中							1 (14.3%)		1 (20.0%)		2 (0.7%)	
	中退	2 (1.4%)						1 (12.5%)		2 (12.5%)	1 (6.7%)	6 (2.1%)	
	卒業	2 (1.4%)		5 (20.8%)	2 (15.4%)			1 (12.5%)	1 (50.0%)	2 (12.5%)	2 (13.3%)	15 (5.3%)	
	不明												
不明		11 (7.4%)		1 (4.2%)				2 (25.0%)		1 (6.3%)		15 (5.3%)	
計		118 (100.0%)	40 (100.0%)	24 (100.0%)	13 (100.0%)	6 (100.0%)	8 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	5 (100.0%)	16 (100.0%)	15 (100.0%)	284 (100.0%)

表5-1 主たる使用薬物別にみた職業歴（薬物乱用前および現在）

	覚せい剤		有機溶剤		睡眠薬		抗不安薬		鎮痛薬		鎮咳薬	
	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)
1 農林漁業	2 (1.4)	2 (1.4)			2 (8.3)							
2 商人 (卸・小売り)			1 (2.5)	1 (2.5)								
3 不動産業											1 (12.5)	
4 金融業	1 (0.7)	1 (0.7)										
5 自営職人		2 (1.4)		1 (2.5)			1 (7.7)	1 (7.7)				
6 露天・行商	1 (0.7)											
7 その他自営業					1 (4.2)		1 (7.7)					
8 団体役員												
9 会社員	8 (5.4)	2 (1.4)	1 (2.5)		6 (25.0)	2 (8.3)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (16.7)			
10 店員	7 (4.7)		2 (5.0)			1 (4.2)						
11 工員	10 (6.8)	2 (1.4)	2 (5.0)	1 (2.5)			1 (7.7)	1 (7.7)				
12 公務員	1 (0.7)		1 (2.5)						1 (7.7)			
13 風俗営業関係	8 (5.4)	2 (1.4)	1 (2.5)		1 (4.2)	1 (4.2)						
14 飲食業	13 (8.8)	3 (2.0)	1 (2.5)				1 (7.7)		1 (16.7)		2 (25.0)	
15 興業関係												
16 旅館業	1 (0.7)											
17 交通運輸	8 (5.4)	1 (0.7)	4 (10.0)		1 (4.2)							
18 土木建築業	24 (16.2)	4 (2.7)	3 (7.5)	1 (2.5)	1 (4.2)		1 (7.7)				1 (12.5)	
19 日雇い労働者	2 (1.4)		3 (2.0)						1 (16.7)			
20 その他の被雇用者	5 (3.4)	3 (2.0)			2 (8.3)	1 (4.2)						
21 医療業関係	2 (1.4)	1 (0.7)			4 (16.7)	2 (8.3)	1 (7.7)					1 (12.5)
22 芸能関係												
24 小学生							1 (7.7)					
25 中学生	8 (5.4)		8 (20.0)	1 (2.5)					1 (16.7)		1 (12.5)	
26 高校生	3 (2.0)	1 (0.7)	3 (7.5)	1 (2.5)	1 (4.2)						1 (12.5)	
27 大学生							1 (4.2)				1 (12.5)	
28 各種学校生			1 (2.5)									
29 主婦	5 (3.4)	5 (3.4)		2 (5.0)		2 (8.3)	1 (7.7)	1 (7.7)	2 (33.3)	2 (33.3)		
30 家事手伝い	1 (0.7)											1 (12.5)
31 無職	13 (8.8)	92 (62.2)	7 (17.5)	29 (72.5)		12 (50.0)	2 (15.4)	8 (61.5)	2 (33.3)		5 (62.5)	
32 不定	3 (2.0)				1 (4.2)		1 (7.7)					
33 不明	20 (13.5)	20 (13.5)	3 (7.5)	3 (7.5)	4 (16.7)	1 (4.2)	1 (7.7)		2 (33.3)	1 (12.5)	1 (12.5)	
34 その他	2 (1.4)	4 (2.7)	2 (5.0)			1 (4.2)						
計	148 (100.0)	148 (100.0)	40 (100.0)	40 (100.0)	24 (100.0)	24 (100.0)	13 (100.0)	13 (100.0)	6 (100.0)	6 (100.0)	8 (100.0)	8 (100.0)

表5-2 主たる使用薬物別にみた職業歴（薬物乱用前および現在）

	大麻		リタリン		その他		多剤 (医薬品)		多剤 (規制薬物)		
	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	乱用前(%)	現在(%)	
1 農林漁業		1 (14.3)									
2 商人 (卸・小売り)											
3 不動産業											
4 金融業											
5 自営職人	1 (14.3)	1 (14.3)									
6 露天・行商											
7 その他自営業					1 (20.0)	1 (20.0)					
8 団体役員											
9 会社員			1 (50.0)		1 (20.0)		2 (12.5)		2 (13.3)	2 (13.3)	
10 店員							1 (6.3)				
11 工員										1 (6.7)	
12 公務員									1 (6.7)		
13 風俗営業関係	1 (14.3)	1 (14.3)			1 (20.0)		1 (6.3)		2 (13.3)	1 (6.7)	
14 飲食業							3 (18.8)		1 (6.7)		
15 興業関係											
16 旅館業							1 (6.3)				
17 交通運輸					1 (20.0)					1 (6.7)	
18 土木建築業		1 (14.3)							1 (6.7)		
19 日雇い労働者											
20 その他の被雇用者	2 (28.6)	1 (14.3)					1 (6.3)		1 (6.7)		
21 医療業関係							3 (18.8)	2 (12.5)			
22 芸能関係											
24 小学生											
25 中学生							1 (6.3)				
26 高校生							1 (6.3)		2 (13.3)		
27 大学生	1 (14.3)	1 (14.3)									
28 各種学校生	1 (14.3)										
29 主婦				1 (50.0)		2 (40.0)				1 (6.7)	
30 家事手伝い								1 (6.3)			
31 無職		1 (14.3)	1 (50.0)	1 (50.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	10 (62.5)		7 (46.7)		
32 不定											
33 不明	1 (14.3)					1 (20.0)	2 (12.5)	2 (12.5)	5 (33.3)	2 (13.3)	
34 その他								1 (6.3)			
計	7 (100.0)	7 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)	5 (100.0)	5 (100.0)	16 (100.0)	16 (100.0)	15 (100.0)	15 (100.0)	

表6 暴力団との関係(複数回答)

	乱用開始前 にあり	乱用開始後 にあり	これまで なし	不明	計
(主たる使用薬物)					
覚せい剤	30 (29.4%)	24 (23.5%)	33 (32.4%)	26 (25.5%)	102 (100.0%)
(男)					
(女)	12 (26.1%)	9 (19.6%)	9 (19.6%)	17 (37.0%)	46 (100.0%)
有機溶剤		2 (6.3%)	18 (56.3%)	10 (31.3%)	32 (100.0%)
(男)					
(女)		1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
睡眠薬	1 (5.6%)		16 (88.9%)	1 (5.6%)	18 (100.0%)
(男)					
(女)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
抗不安薬		2 (22.2%)	7 (77.8%)		9 (100.0%)
(男)					
(女)			4 (100.0%)		4 (100.0%)
鎮痛薬			1 (100.0%)		1 (100.0%)
(男)					
(女)			5 (100.0%)		5 (100.0%)
鎮咳薬		1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
(男)					
(女)			3 (100.0%)		3 (100.0%)
大麻	1 (16.7%)		3 (50.0%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
(男)					
(女)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
リタリン			1 (100.0%)		1 (100.0%)
(男)					
(女)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
その他			2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
(男)					
(女)			2 (100.0%)		2 (100.0%)
多剤		2 (25.0%)	6 (75.0%)		8 (100.0%)
(医薬品)					
(女)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
多剤	2 (22.2%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	9 (100.0%)
(規制薬物)					
(女)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)		6 (100.0%)
計	34 (17.5%)	33 (17.0%)	93 (47.9%)	43 (22.2%)	194 (100.0%)
(男)					
(女)	17 (18.9%)	16 (17.8%)	40 (44.4%)	21 (23.3%)	90 (100.0%)
男女計	51 (18.0%)	49 (17.3%)	133 (46.8%)	64 (22.5%)	284 (100.0%)

表7 非行グループとの関係(複数回答)

	乱用開始前 にあり	乱用開始後 にあり	これまで なし	不明	計
(主たる使用薬物)					
覚せい剤	43 (42.2%)	12 (11.8%)	20 (19.6%)	32 (31.4%)	102 (100.0%)
(男)					
(女)	12 (26.1%)	5 (10.9%)	12 (26.1%)	18 (39.1%)	46 (100.0%)
有機溶剤	10 (31.3%)	4 (12.5%)	9 (28.1%)	10 (31.3%)	32 (100.0%)
(男)					
(女)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
睡眠薬			16 (88.9%)	2 (11.1%)	18 (100.0%)
(男)					
(女)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	6 (100.0%)
抗不安薬	4 (44.4%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
(男)					
(女)			4 (100.0%)		4 (100.0%)
鎮痛薬			1 (100.0%)		1 (100.0%)
(男)					
(女)	1 (20.0%)		4 (80.0%)		5 (100.0%)
鎮咳薬	1 (20.0%)		3 (60.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
(男)					
(女)			2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
大麻	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)		6 (100.0%)
(男)					
(女)	1 (100.0%)				1 (100.0%)
リタリン			1 (100.0%)		1 (100.0%)
(男)					
(女)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
その他	1 (33.3%)		2 (66.7%)		3 (100.0%)
(男)					
(女)			2 (100.0%)		2 (100.0%)
多剤	2 (25.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
(医薬品)					
(女)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
多剤	3 (33.3%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	9 (100.0%)
(規制薬物)					
(女)	4 (66.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
計	65 (33.5%)	20 (10.3%)	68 (35.1%)	49 (25.3%)	194 (100.0%)
(男)					
(女)	25 (27.8%)	14 (15.6%)	32 (35.6%)	26 (28.9%)	90 (100.0%)
男女計	90 (31.7%)	34 (12.0%)	100 (35.2%)	75 (26.4%)	284 (100.0%)

表8 薬物乱用者との関係(複数回答)

		乱用開始前 にあり	乱用開始後 にあり	これまで なし	不明	計
覚せい剤	(男)	51 (50.0%)	30 (29.4%)	10 (9.8%)	24 (23.5%)	102 (100.0%)
	(女)	25 (54.3%)	14 (30.4%)	3 (6.5%)	12 (26.1%)	46 (100.0%)
有機溶剤	(男)	11 (34.4%)	8 (25.0%)	7 (21.9%)	9 (28.1%)	32 (100.0%)
	(女)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
睡眠薬	(男)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	14 (77.8%)	1 (5.6%)	18 (100.0%)
	(女)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
抗不安薬	(男)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
	(女)			4 (100.0%)		4 (100.0%)
鎮痛薬	(男)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
	(女)			3 (60.0%)	2 (40.0%)	5 (100.0%)
鎮咳薬	(男)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
	(女)			2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
大麻	(男)	6 (100.0%)	2 (33.3%)			6 (100.0%)
	(女)	1 (100.0%)				1 (100.0%)
リタリン	(男)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
	(女)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
その他	(男)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)		3 (100.0%)
	(女)	1 (50.0%)		1 (50.0%)		2 (100.0%)
多剤 (医薬品)	(男)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	8 (100.0%)
	(女)		4 (50.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
多剤 (規制薬物)	(男)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	9 (100.0%)
	(女)	3 (50.0%)	3 (50.0%)		2 (33.3%)	6 (100.0%)
計	(男)	79 (40.7%)	50 (25.8%)	46 (23.7%)	42 (21.6%)	194 (100.0%)
	(女)	34 (37.8%)	24 (26.7%)	21 (23.3%)	22 (24.4%)	90 (100.0%)
男女計		113 (39.8%)	74 (26.1%)	67 (23.6%)	64 (22.5%)	284 (100.0%)

表9 矯正施設への入所歴の有無

主たる使用薬物		あり	なし	不明	計
覚せい剤	(男)	76 (74.5%)	19 (18.6%)	7 (6.9%)	102 (100.0%)
	(女)	29 (63.0%)	13 (28.3%)	4 (8.7%)	46 (100.0%)
有機溶剤	(男)	19 (59.4%)	11 (34.4%)	2 (6.3%)	32 (100.0%)
	(女)	4 (50.0%)	4 (50.0%)		8 (100.0%)
睡眠薬	(男)	1 (5.6%)	16 (88.9%)	1 (5.6%)	18 (100.0%)
	(女)		5 (83.3%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
抗不安薬	(男)	4 (44.4%)	5 (55.6%)		9 (100.0%)
	(女)		4 (100.0%)		4 (100.0%)
鎮痛薬	(男)	1 (100.0%)			1 (100.0%)
	(女)		4 (80.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
鎮咳薬	(男)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
	(女)		2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
大麻	(男)	2 (33.3%)	4 (66.7%)		6 (100.0%)
	(女)		1 (100.0%)		1 (100.0%)
リタリン	(男)		1 (100.0%)		1 (100.0%)
	(女)		1 (100.0%)		1 (100.0%)
その他	(男)		3 (100.0%)		3 (100.0%)
	(女)		2 (100.0%)		2 (100.0%)
多剤 (医薬品)	(男)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
	(女)	2 (25.0%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
多剤 (規制薬物)	(男)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
	(女)		6 (100.0%)		6 (100.0%)
計	(男)	109 (56.2%)	72 (37.1%)	13 (6.7%)	194 (100.0%)
	(女)	35 (38.9%)	47 (52.2%)	8 (8.9%)	90 (100.0%)
男女計		144 (50.7%)	119 (41.9%)	21 (7.4%)	284 (100.0%)

表10-1 補導・逮捕歴の有無（複数選択）

		薬物乱用前 にあり	薬物乱用後 にあり	これまで なし	不明	計
覚せい剤	(男)	21 (20.6%)	69 (67.6%)	14 (13.7%)	4 (3.9%)	102 (100.0%)
	(女)	3 (6.5%)	27 (58.7%)	10 (21.7%)	6 (13.0%)	46 (100.0%)
有機溶剤	(男)	3 (9.4%)	17 (53.1%)	8 (25.0%)	4 (12.5%)	32 (100.0%)
	(女)		4 (50.0%)	4 (50.0%)		8 (100.0%)
睡眠薬	(男)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	15 (83.3%)	1 (5.6%)	18 (100.0%)
	(女)	1 (16.7%)		4 (66.7%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
抗不安薬	(男)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
	(女)			4 (100.0%)		4 (100.0%)
鎮痛薬	(男)		1 (100.0%)			1 (100.0%)
	(女)			3 (60.0%)	2 (40.0%)	5 (100.0%)
鎮咳薬	(男)		1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
	(女)			2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
大麻	(男)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)		6 (100.0%)
	(女)	1 (100.0%)				1 (100.0%)
リタリン	(男)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
	(女)			1 (100.0%)		1 (100.0%)
その他	(男)			3 (100.0%)		3 (100.0%)
	(女)			2 (100.0%)		2 (100.0%)
多剤 (医薬品)	(男)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
	(女)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)		8 (100.0%)
多剤 (規制薬物)	(男)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
	(女)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
計	(男)	30 (15.5%)	99 (51.0%)	58 (29.9%)	13 (6.7%)	194 (100.0%)
	(女)	7 (7.8%)	35 (38.9%)	35 (38.9%)	11 (12.2%)	90 (100.0%)
男女計		37 (13.0%)	134 (47.2%)	93 (32.7%)	24 (8.5%)	284 (100.0%)

表10-2 薬物乱用開始前後の補導・逮捕内容（件数）

		補導・逮捕の内容					合計 (実人数)	
		窃盗	傷害・暴行	恐喝	強盗	薬物関連	その他	
覚せい剤	(前)	8 (16.7%)	13 (27.1%)	5 (10.4%)	3 (6.3%)	14 (29.2%)	5 (10.4%)	48
	(後)	9 (9.2%)	8 (8.2%)	3 (3.1%)	2 (2.0%)	70 (71.4%)	6 (6.1%)	98
有機溶剤	(前)	2 (66.7%)	1 (33.3%)					3
	(後)	9 (33.3%)	2 (7.4%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	12 (44.4%)	2 (7.4%)	27
大麻	(前)	2 (50.0%)					2 (50.0%)	4
	(後)					2 (100.0%)		2
睡眠薬	(前)	1 (50.0%)				1 (50.0%)		2
	(後)						1 (100.0%)	1
抗不安薬	(前)	1 (25.0%)					3 (75.0%)	4
	(後)	1 (20.0%)				2 (40.0%)	2 (40.0%)	5
鎮痛薬	(前)							
	(後)						1 (100.0%)	1
鎮咳薬	(前)							
	(後)	1 (50.0%)					1 (50.0%)	2
リタリン	(前)							
	(後)							
多剤 (規制薬物)	(前)	2 (100.0%)						2
	(後)	1 (20.0%)				3 (60.0%)	1 (20.0%)	5
多剤 (医薬品)	(前)	1 (33.3%)				1 (33.3%)	1 (33.3%)	3
	(後)	1 (16.7%)				4 (66.7%)	1 (16.7%)	6
その他	(前)							
	(後)							
計	(前)	17 (25.8%)	14 (21.2%)	5 (7.6%)	3 (4.5%)	16 (24.2%)	11 (16.7%)	66
	(後)	22 (15.0%)	10 (6.8%)	4 (2.7%)	3 (2.0%)	93 (63.3%)	15 (10.2%)	147

表1-1 配偶関係

	未婚	同棲	内縁	既婚	別居	離婚	死別	再婚	その他	不明	計
覚せい剤	(男) 54 (52.9%) (女) 15 (32.6%)	2 (2.0%) 2 (4.3%)	3 (2.9%) 1 (2.2%)	8 (7.8%) 6 (13.0%)	3 (2.9%) 2 (4.3%)	19 (18.6%) 15 (32.6%)	2 (2.0%) 3 (6.5%)	1 (1.0%) 1 (2.2%)	1 (1.0%)	9 (8.8%) 1 (2.2%)	102 46
有機溶剤	(男) 23 (71.9%) (女) 4 (50.0%)		1 (3.1%) 1 (12.5%)			6 (18.8%) 1 (12.5%)				2 (6.3%)	32 8
睡眠薬	(男) 7 (38.9%) (女) 2 (33.3%)	1 (5.6%)		7 (38.9%) 2 (33.3%)		1 (5.6%) 1 (16.7%)		1 (16.7%)		2 (11.1%)	18 6
抗不安薬	(男) 5 (55.6%) (女) 2 (50.0%)	1 (11.1%)			1 (25.0%)	3 (33.3%) 1 (25.0%)					9 4
鎮痛薬	(男) 1 (100.0%) (女) 1 (20.0%)				2 (40.0%)		2 (40.0%)				1 5
鎮咳薬	(男) 3 (60.0%) (女) 2 (66.7%)			2 (40.0%) 1 (33.3%)							5 3
大麻	(男) 4 (66.7%) (女) 1 (100.0%)					2 (33.3%)					6 1
リタリン	(男) 1 (100.0%) (女)			1 (100.0%)							1 1
その他	(男) 2 (66.7%) (女)			1 (33.3%) 2 (100.0%)							3 2
多剤 (医薬品)	(男) 4 (50.0%) (女) 3 (37.5%)			1 (12.5%) 1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%) 3 (37.5%)				1 (12.5%)	8 8
多剤 (規制薬物)	(男) 5 (55.6%) (女) 3 (50.0%)		1 (11.1%)	1 (11.1%) 1 (16.7%)		2 (22.2%)				2 (33.3%)	9 6
計	(男) 109 (56.2%) (女) 33 (36.7%)	4 (2.1%) 2 (2.2%)	5 (2.6%) 2 (2.2%)	20 (10.3%) 19 (21.1%)	4 (2.1%) 2 (2.2%)	35 (18.0%) 23 (25.6%)	2 (1.0%) 3 (3.3%)	1 (0.5%) 2 (2.2%)	1 (0.5%)	13 (6.7%) 4 (4.4%)	194 90
男女計	142 (50.0%)	6 (2.1%)	7 (2.5%)	39 (13.7%)	6 (2.1%)	58 (20.4%)	5 (1.8%)	3 (1.1%)	1 (0.4%)	17 (6.0%)	284

表1-2-1 主たる使用薬物別にみた薬物初回使用年齢

主たる使用薬物 (使用薬物)	覚せい剤 (覚せい剤)		有機溶剤 (有機溶剤)		睡眠薬 (睡眠薬)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
年齢 (歳)						
<10						
10~14	1 (1.0%)	2 (4.3%)	11 (34.4%)	2 (25.0%)		
15~19	32 (31.4%)	22 (47.8%)	14 (43.8%)	3 (37.5%)	2 (11.1%)	
20~24	39 (38.2%)	9 (19.6%)	4 (12.5%)	2 (25.0%)		
25~29	9 (8.8%)	3 (6.5%)			6 (33.3%)	
30~34	6 (5.9%)	3 (6.5%)	1 (3.1%)		2 (11.1%)	1 (16.7%)
35~39	4 (3.9%)	2 (4.3%)	1 (3.1%)	1 (12.5%)	2 (11.1%)	
40~44	1 (1.0%)					
45~49	1 (1.0%)				1 (5.6%)	1 (16.7%)
50~54	1 (1.0%)				2 (11.1%)	
55~59					1 (5.6%)	
60~64						
65~					1 (5.6%)	
不明	8 (7.8%)	5 (10.9%)	1 (3.1%)		1 (5.6%)	4 (66.7%)
計	102 (100.0%)	46 (100.0%)	32 (100.0%)	8 (100.0%)	18 (100.0%)	6 (100.0%)
平均年齢 (男女別)	22.4±6.9	20.6±6.1	17.2±5.4	20.0±8.5	35.6±14.2	37.5±10.6
平均年齢 (全体)	21.9±6.7		17.7±6.2		35.8±13.6	

表1 2-2 主たる使用薬物別にみた薬物初回使用年齢

主たる使用薬物 (使用薬物)	抗不安薬 (抗不安薬)		鎮痛薬 (鎮痛薬)		鎮咳薬 (鎮咳薬)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
年齢(歳)						
10~14						
15~19	1 (11.1%)				1 (20.0%)	2 (66.7%)
20~24	2 (22.2%)				2 (40.0%)	
25~29	1 (11.1%)			1 (20.0%)		
30~34	1 (11.1%)					1 (33.3%)
35~39		2	1 (100.0%)		1 (20.0%)	
40~44				1 (20.0%)		
45~49				1 (20.0%)		
50~54						
55~59						
不明	4 (44.4%)	2 (50.0%)		2 (40.0%)	1 (20.0%)	
計	9 (100.0%)	4 (50.0%)	1 (100.0%)	5 (100.0%)	5 (100.0%)	3 (100.0%)
平均年齢(男女別)	24.0±5.7	37.5±2.1	35.0	38.0±11.3	25.0±10.1	23.7±9.0
平均年齢(全体)	27.9±8.1		37.3±9.3		24.4±8.8	

表1 2-3 主たる使用薬物別にみた薬物初回使用年齢

主たる使用薬物 (使用薬物)	大 麻 (大 麻)		その他 (その他)	
	男性	女性	男性	女性
年齢(歳)				
10~14	1 (16.7%)			
15~19	1 (16.7%)	1 (100.0%)		
20~24	2 (33.3%)			
25~29				
30~34	1 (16.7%)		1 (33.3%)	
35~39				
45~49				1 (50.0%)
50~54				
55~59				
不明	1 (16.7%)		2 (66.7%)	1 (50.0%)
計	6 (100.0%)	1 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)
平均年齢(男女別)	20.6±6.8	19.0	29.5±3.5	34.0±15.6
平均年齢(全体)	20.3±6.2		31.8±9.6	

表1 2-4 主たる使用薬物別にみた薬物初回使用年齢

主たる使用薬物 (使用薬物)	多剤(医薬品) (睡眠薬)		多剤(医薬品) (抗不安薬)	
	男性	女性	男性	女性
年齢(歳)				
15~19	2 (11.1%)			2 (25.0%)
20~24			2 (25.0%)	2 (25.0%)
25~29	6 (33.3%)		1 (12.5%)	
30~34	2 (11.1%)	1 (16.7%)		1 (12.5%)
35~39	2 (11.1%)		1 (12.5%)	
40~44			1 (12.5%)	
45~49	1 (5.6%)	1 (16.7%)	1 (12.5%)	
50~54	2 (11.1%)			
55~59	1 (5.6%)			
60~64				
65~69	1 (5.6%)			
不明	1 (5.6%)	4 (66.7%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)
計	18 (100.0%)	6 (100.0%)	8 (100.0%)	8 (100.0%)
平均年齢(男女別)	31.4±9.7	21.7±6.0	32.5±10.2	21.2±6.8
平均年齢(全体)	26.9±9.4		27.4±10.3	

表12-5 主たる使用薬物別にみた薬物初回使用年齢

主たる使用薬物 (使用薬物)	(覚せい剤)		多剤 (規制薬物) (有機溶剤)		(大麻)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
年齢 (歳)						
10~14			2 (22.2%)	1 (16.7%)		
15~19	3 (33.3%)	3 (50.0%)	4 (44.4%)	1 (16.7%)	1 (11.1%)	2 (33.3%)
20~24	3 (33.3%)	1 (16.7%)			1 (11.1%)	2 (33.3%)
25~29		1 (16.7%)				
30~34						
35~39	1 (11.1%)	1 (16.7%)				1 (16.7%)
不明	2 (22.2%)		3 (33.3%)	4 (66.7%)	7 (77.8%)	1 (16.7%)
計	9 (100.0%)	6 (100.0%)	9 (100.0%)	6 (100.0%)	9 (100.0%)	6 (100.0%)
平均年齢 (男女別)	21.7±7.1	22.3±7.6	15.3±2.5	14.5±0.7	20.5±3.5	22.6±7.6
平均年齢 (全体)	22.0±7.0		15.1±2.2		22.0±6.5	

表13 主たる薬物別にみた薬物使用期間

使用期間 (年)	主たる使用薬物						
	覚せい剤	有機溶剤	睡眠薬	抗不安薬	鎮痛薬	鎮咳薬	大麻
平均	12.0±10.3	13.5±9.9	8.2±5.9	4.3±5.8	5.3±1.2	7.8±6.4	4.8±4.5
<1	4 (2.7%)	2 (5.0%)	1 (4.2%)	0	0	1 (12.5%)	2 (28.6%)
1~2	7 (4.7%)	1 (2.5%)	1 (4.2%)	2 (15.4%)	0	0	0
2~3	5 (3.4%)	1 (2.5%)	0	0	0	1 (12.5%)	0
3~4	3 (2.0%)	3 (7.5%)	1 (4.2%)	0	0	1 (12.5%)	2 (28.6%)
4~5	12 (8.1%)	0	4 (16.7%)	0	1 (16.7%)	0	0
5~10	30 (20.3%)	5 (12.5%)	0	0	2 (33.3%)	0	0
10~15	16 (10.8%)	6 (15.0%)	3 (12.5%)	1 (7.7%)	0	3 (37.5%)	2 (28.6%)
15~20	8 (5.4%)	4 (10.0%)	0	0	0	0	0
20~25	9 (6.1%)	5 (12.5%)	1 (4.2%)	0	0	0	0
25~30	7 (4.7%)	1 (2.5%)	0	0	0	0	0
30~35	4 (2.7%)	2 (5.0%)	0	0	0	0	0
35≤	5 (3.4%)	1 (2.5%)	0	0	0	0	0
不明	38 (25.7%)	9 (22.5%)	13 (54.2%)	10 (76.9%)	3 (50.0%)	2 (25.0%)	1 (14.3%)
<5年以上>	79 (53.4%)	24 (60.0%)	4 (16.7%)	1 (7.7%)	2 (33.3%)	3 (37.5%)	2 (28.6%)
<10年以上>	49 (33.1%)	19 (47.5%)	4 (16.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	2 (28.6%)
計	148 (100.0%)	40 (100.0%)	24 (100.0%)	13 (100.0%)	6 (100.0%)	8 (100.0%)	7 (100.0%)

表14-1 主たる使用薬物別にみた併用薬物と使用開始年齢

(併用薬物)	主たる使用薬物			
	覚せい剤	有機溶剤	大麻	多剤(規制薬物)
なし	20 (13.5%)	6 (15.0%)	0	0
覚せい剤	148 (100.0%) 21.9±6.7	7 (17.5%) 27.3±11.4	3 (42.9%) 21.7±3.8	13 (92.9%) 22.0±7.0
有機溶剤	62 (41.9%) 15.6±4.7	40 (100.0%) 17.7±6.2	0 (0.0%)	8 (57.1%) 15.1±2.2
睡眠薬	16 (10.8%) 28.6±9.5	4 (10.0%) 25.3±5.2	2 (28.6%) 19.0±1.4	5 (35.7%) 18.6±1.7
抗不安薬	5 (3.4%) 27.0±3.0	1 (2.5%) 30.0	0 (0.0%)	0 (0.0%)
鎮痛薬	6 (4.1%) 18.8±8.8	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
鎮咳薬	4 (2.7%) 20.5±7.3	1 (2.5%) 18.0	0 (0.0%)	1 (7.1%) 20.0
リタリン	3 (2.0%) 33.3±11.5	1 (2.5%) 22.0	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大麻	38 (25.7%) 21.7±6.8	6 (15.0%) 19.0±3.9	7 (100.0%) 20.3±3.8	7 (50.0%) 22.0±6.5
コカイン	13 (8.8%) 22.6±4.4	0 (0.0%)	2 (28.6%) 24.5±7.8	2 (14.3%) 29.5±9.2
ヘロイン	4 (2.7%) 24.0±4.1	0 (0.0%)	1 (14.3%) 28.0	0 (0.0%)

(複数回答)

表14-2 主たる使用薬物別にみた併用薬物と使用開始年齢

(併用薬物)	主たる使用薬物					
	睡眠薬	抗不安薬	鎮痛薬	鎮咳薬	リタリン	多剤(医薬品)
なし	4 (16.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0
覚せい剤	4 (16.7%) 28.0±8.6	2 (15.4%) 19.0±1.4	0 (0.0%)	1 (12.5%) 19.0	0 (0.0%)	4 (25.0%) 19.8±2.5
有機溶剤	0 (0.0%)	2 (15.4%) 13.5±3.5	0 (0.0%)	1 (12.5%) 16.0	0 (0.0%)	7 (43.8%) 15.0±1.5
睡眠薬	24 (100.0%) 35.8±13.6	5 (38.5%) 27.0±6.6	0 (0.0%)	1 (12.5%) 29.0	0 (0.0%)	13 (81.3%) 26.9±9.4
抗不安薬	7 (29.2%) 33.6±15.9	13 (100.0%) 27.9±8.1	1 (16.7%) 28.0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (68.8%) 27.4±10.3
鎮痛薬	2 (8.3%) 39.5±24.7	1 (7.7%) 18.0	6 (100.0%) 37.3±9.3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%) 29.0±6.6
鎮咳薬	2 (8.3%) 34.0±8.5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%) 24.4±8.8	0 (0.0%)	2 (12.5%) 31.0±12.7
リタリン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%) 24.5±7.8	0 (0.0%)
大麻	1 (4.2%) 23.0	3 (23.1%) 19.3±2.1	0 (0.0%)	2 (25.0%) 17.0±1.4	1 (50.0%) 17.0	4 (25.0%) 19.8±3.6
コカイン	0 (0.0%)	1 (7.7%) 30.0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%) 20.0
ヘロイン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%) 20.0

(複数回答)

表15-1 主たる使用薬物別にみた過去1年間における使用薬物

(使用薬物)	主たる使用薬物				
	覚せい剤	有機溶剤	大麻	多剤(規制薬物)	その他
覚せい剤	48 (32.4%)	1 (2.5%)	1 (14.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)
有機製剤	3 (2.0%)	20 (50.0%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)
大麻	2 (1.4%)	1 (2.5%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
コカイン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ヘロイン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
MDMA	2 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
マジックマッシュルーム	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
LSD	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
睡眠薬	8 (5.4%)	3 (7.5%)	1 (14.3%)	3 (20.0%)	1 (20.0%)
抗不安薬	3 (2.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
鎮痛薬	4 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
鎮咳薬	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
リタリン	0 (0.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
薬物別計	148 (100.0%)	40 (100.0%)	7 (100.0%)	15 (100.0%)	5 (100.0%)

表15-2 主たる使用薬物別にみた過去1年間における使用薬物

(使用薬物)	主たる使用薬物					
	睡眠薬	抗不安薬	鎮痛薬	鎮咳薬	リタリン	多剤(医薬品)
覚せい剤	2 (8.3%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
有機製剤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)
大麻	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)
コカイン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
ヘロイン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
MDMA	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
マジックマッシュルーム	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
LSD	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
睡眠薬	14 (58.3%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	10 (62.5%)
抗不安薬	2 (8.3%)	5 (38.5%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (56.3%)
鎮痛薬	1 (4.2%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)
鎮咳薬	1 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
リタリン	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
薬物別計	24 (100.0%)	13 (100.0%)	6 (100.0%)	8 (100.0%)	2 (100.0%)	16 (100.0%)

表16 主たる使用薬物別にみた喫煙歴

	喫煙歴あり		喫煙歴なし		不明・記載なし		計	使用開始年齢
(主たる使用薬物)								
覚せい剤	118	(79.7%)	5	(3.4%)	25	(16.9%)	148 (100.0%)	15.7±3.4
有機溶剤	38	(95.0%)	0	(0.0%)	2	(5.0%)	40 (100.0%)	15.4±2.0
大麻	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	7 (100.0%)	15.6±2.3
睡眠薬	17	(70.8%)	2	(8.3%)	5	(20.8%)	24 (100.0%)	19.3±4.4
抗不安薬	10	(76.9%)	2	(15.4%)	1	(7.7%)	13 (100.0%)	16.6±3.4
鎮痛薬	4	(66.7%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	6 (100.0%)	22.3±6.8
鎮咳薬	7	(87.5%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	8 (100.0%)	16.0±2.2
リタリン	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2 (100.0%)	12.0
多剤(規制薬物)	11	(73.3%)	0	(0.0%)	4	(26.7%)	15 (100.0%)	14.4±1.8
多剤(医薬品)	13	(81.3%)	0	(0.0%)	3	(18.8%)	16 (100.0%)	16.0±1.9
その他	4	(80.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	5 (100.0%)	20.0
計	229	(80.6%)	12	(4.2%)	43	(15.1%)	284 (100.0%)	16.1±3.4

表17-1 主たる使用薬物別にみた飲酒歴

	飲酒歴あり		飲酒歴なし		不明・記載なし		計	使用開始年齢
(主たる使用薬物)								
覚せい剤	110	(74.3%)	18	(12.2%)	20	(13.5%)	148 (100.0%)	17.3±3.1
有機溶剤	27	(67.5%)	9	(22.5%)	4	(10.0%)	40 (100.0%)	16.1±2.8
大麻	7	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7 (100.0%)	17.2±2.3
睡眠薬	14	(58.3%)	7	(29.2%)	3	(12.5%)	24 (100.0%)	26.0±13.3
抗不安薬	8	(61.5%)	3	(23.1%)	2	(15.4%)	13 (100.0%)	17.6±4.4
鎮痛薬	5	(83.3%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	6 (100.0%)	19.0±1.4
鎮咳薬	6	(75.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	8 (100.0%)	16.0±1.7
リタリン	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2 (100.0%)	12.0
多剤(規制薬物)	9	(60.0%)	2	(13.3%)	4	(26.7%)	15 (100.0%)	15.3±2.7
多剤(医薬品)	14	(87.5%)	0	(0.0%)	2	(12.5%)	16 (100.0%)	17.8±4.1
その他	5	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5 (100.0%)	17.7±2.1
計	206	(72.5%)	41	(14.4%)	37	(13.0%)	284 (100.0%)	17.8±5.3

表17-2 アルコール問題の既往と程度(薬物別)

	アルコール問題の既往		アルコール問題の程度(「問題あり」における頻度)				不明	症例数
	なし	あり	問題飲酒レベル(過去)	問題飲酒レベル(現在)	依存レベル(過去)	依存レベル(現在)		
覚せい剤	83 (56.1%)	32 (21.6%)	16 (50.0%)	5 (15.6%)	7 (21.9%)	9 (28.1%)	5 (15.6%)	148
有機溶剤	27 (67.5%)	4 (10.0%)	3 (75.0%)					40
大麻	7 (100.0%)	0 (0.0%)						7
睡眠薬	17 (70.8%)	5 (20.8%)		1 (20.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)		24
抗不安薬	4 (30.8%)	7 (53.8%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	13
鎮痛薬	5 (83.3%)	1 (16.7%)				1 (100.0%)		6
鎮咳薬	5 (62.5%)	2 (25.0%)	1 (50.0%)		2 (100.0%)			8
リタリン	1 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (100.0%)		1 (100.0%)			2
多剤(規制薬物)	5 (33.3%)	5 (33.3%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	15
多剤(医薬品)	5 (31.3%)	9 (56.3%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	16
その他	3 (60.0%)	2 (40.0%)	1 (50.0%)		1 (50.0%)			5
計	162 (57.0%)	68 (23.9%)	31 (45.6%)	9 (13.2%)	18 (26.5%)	18 (26.5%)	9 (13.2%)	284

表17-3 アルコール問題の既往と程度 (性別)

	アルコール問題の既往		アルコール問題の程度 (「問題あり」における頻度)				症例数	
	なし	あり	問題飲酒レベル(過去)	問題飲酒レベル(現在)	依存レベル(過去)	依存レベル(現在)		不明
男性	112 (57.7%)	44 (22.7%)	21 (47.7%)	5 (11.4%)	13 (29.5%)	11 (25.0%)	8 (18.2%)	194
女性	50 (55.6%)	24 (26.7%)	10 (41.7%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	7 (29.2%)	1 (4.2%)	90
計	162 (57.0%)	68 (23.9%)	31 (45.6%)	9 (13.2%)	18 (26.5%)	18 (26.5%)	9 (13.2%)	284

表18 乱用開始から「依存」に至る期間 (月)

薬物	n	平均	標準偏差	最小値	最大値
覚せい剤	71	28.5	39.5	1	216
有機溶剤	46	26.9	52.8	0.25	324
大麻	11	7.5	6.5	0	20
コカイン	1	1.0	.	1	1
ヘロイン	3	5.3	5.9	1	12
MDMA	7	5.0	8.4	0.25	24
LSD	3	12.3	11.5	1	24
睡眠薬	21	14.8	25.8	1	120
抗不安薬	12	22.6	29.2	1	96
鎮痛薬	7	11.0	11.8	1	36
鎮咳薬	13	10.0	14.8	1	48
リタリン	7	23.0	43.1	1	120

表19 初回使用薬物

	n	%
有機溶剤	117	(41.2%)
覚せい剤	82	(28.9%)
睡眠薬	30	(10.6%)
大麻	23	(8.1%)
抗不安薬	17	(6.0%)
鎮咳薬	9	(3.2%)
リタリン	1	(0.4%)
その他	3	(1.1%)
鎮痛薬	6	(2.1%)
コカイン	3	(1.1%)
ヘロイン	1	(0.4%)
LSD	1	(0.4%)
マジック・マッシュルーム	2	(0.7%)
MDMA (エクスタシー)	2	(0.7%)
不明・記載なし	14	(4.9%)
症例総数	284	(100.0%)

(複数回答)

表20-1 薬物初回使用の動機（複数回答）

	主たる使用薬物									
	覚せい剤		有機溶剤		睡眠薬		抗不安薬		鎮痛薬	
	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)
誘われて	50 (49.0%)	25 (54.3%)	15 (46.9%)	3 (37.5%)	0	1 (16.7%)	3 (33.3%)	0	0	0
刺激を求めて	27 (26.5%)	8 (17.4%)	8 (25.0%)	2 (25.0%)	0	0	1 (11.1%)	0	0	0
好奇心・興味から	62 (60.8%)	14 (30.4%)	17 (53.1%)	5 (62.5%)	1 (5.6%)	0	3 (33.3%)	0	0	0
断り切れずに	12 (11.8%)	8 (17.4%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	0	0	0	0	0	0
自暴自棄になって	1 (1.0%)	1 (2.2%)	1 (3.1%)	0	0	0	2 (22.2%)	0	0	0
覚醒効果を求めて	3 (2.9%)	0	1 (3.1%)	0	0	0	0	0	0	0
疲労の除去	2 (2.0%)	1 (2.2%)	0	0	3 (16.7%)	0	0	0	0	0
性的効果を求めて	2 (2.0%)	1 (2.2%)	0	0	0	0	0	0	0	0
ストレス解消	5 (4.9%)	2 (4.3%)	5 (15.6%)	4 (50.0%)	2 (11.1%)	0	0	0	0	0
抑うつ気分の軽減	3 (2.9%)	3 (6.5%)	2 (6.3%)	0	2 (11.1%)	1 (16.7%)	0	1 (25.0%)	0	0
不安の軽減	0	1 (2.2%)	2 (6.3%)	0	3 (16.7%)	1 (16.7%)	3 (33.3%)	4 (100.0%)	0	1 (20.0%)
不眠の軽減	0	1 (2.2%)	1 (3.1%)	0	13 (72.2%)	3 (50.0%)	1 (11.1%)	1 (25.0%)	0	2 (40.0%)
疼痛の軽減	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (100.0%)	2 (40.0%)
咳嗽の軽減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
やせるため	0	0	1 (3.1%)	0	0	0	0	0	0	0
その他	1 (1.0%)	1 (2.2%)	0	0	3 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (11.1%)	0	0	0
症例数	102 (100.0%)	46 (100.0%)	32 (100.0%)	8 (100.0%)	18 (100.0%)	6 (100.0%)	9 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)	5 (100.0%)

表20-2 薬物初回使用の動機（複数回答）

	主たる使用薬物									
	鎮咳薬		大麻		リタリン		多剤 (医薬品)		多剤 (規制薬物)	
	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)
誘われて	2 (40.0%)	0	3 (50.0%)	0	0	0	2 (25.0%)	3 (37.5%)	4 (44.4%)	2 (33.3%)
刺激を求めて	0	1 (33.3%)	2 (33.3%)	0	0	0	1 (12.5%)	0	2 (22.2%)	1 (16.7%)
好奇心・興味から	3 (60.0%)	0	2 (33.3%)	1 (100.0%)	0	0	6 (75.0%)	4 (50.0%)	6 (66.7%)	4 (66.7%)
断り切れずに	0	0	1 (16.7%)	0	0	0	0	1 (12.5%)	0	2 (33.3%)
自暴自棄になって	0	0	0	0	0	0	0	1 (12.5%)	0	0
覚醒効果を求めて	2 (40.0%)	0	1 (16.7%)	0	0	0	0	0	0	0
疲労の除去	1 (20.0%)	0	1 (16.7%)	0	0	0	0	0	0	0
性的効果を求めて	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (11.1%)	0
ストレス解消	1 (20.0%)	0	0	0	0	0	0	2 (25.0%)	1 (11.1%)	1 (16.7%)
抑うつ気分の軽減	0	0	0	0	1 (100.0%)	0	3 (37.5%)	0	0	0
不安の軽減	0	0	0	0	0	0	4 (50.0%)	2 (25.0%)	0	1 (16.7%)
不眠の軽減	0	0	0	0	0	0	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0	1 (16.7%)
疼痛の軽減	0	0	0	0	0	0	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0	0
咳嗽の軽減	1 (20.0%)	1 (33.3%)	0	0	0	0	0	1 (12.5%)	0	0
やせるため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (11.1%)	1 (16.7%)
症例数	5 (100.0%)	3 (100.0%)	6 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	8 (100.0%)	8 (100.0%)	9 (100.0%)	6 (100.0%)